

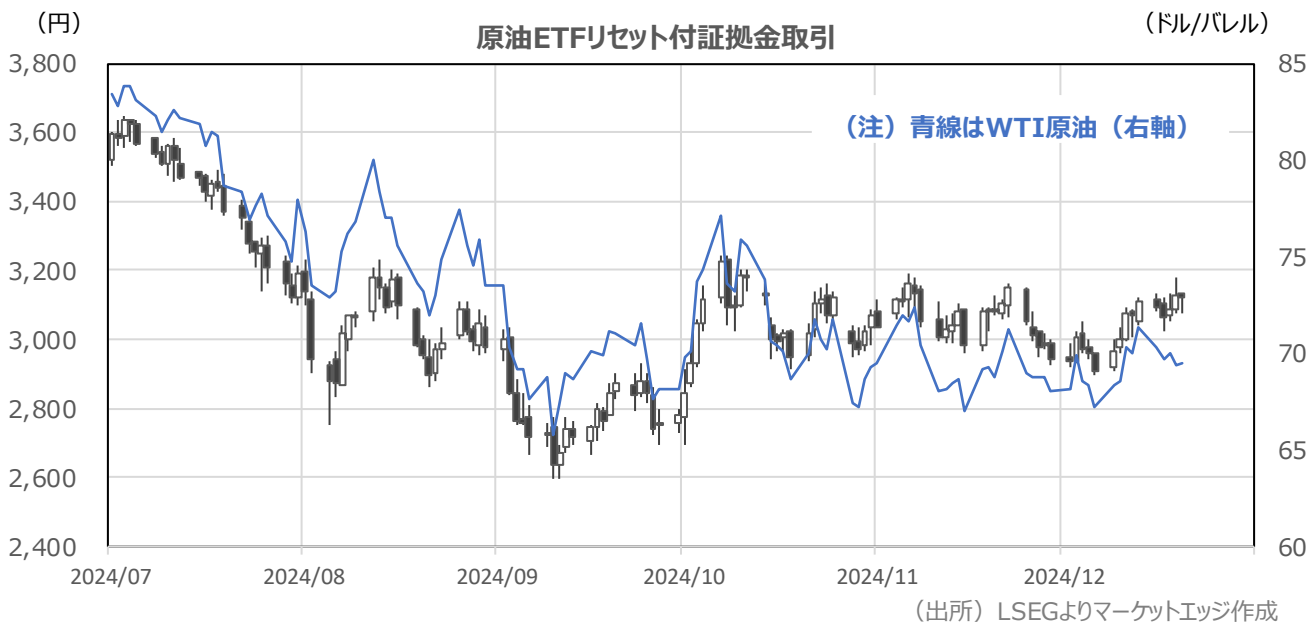
# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/12/23号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



## 60ドル台後半まで小反落

NY原油先物相場は、1バレル=71.44ドルで上げ一服となり、69ドル台まで小幅値下がりする展開になった。欧州連合（EU）の対ロシア追加制裁の動きを手掛かりに買いが膨らんでいたが、70ドル台では上値の重さを再確認している。改めて需給緩和見通しを織り込む動きが優勢になった。為替がドル高に振れたこともネガティブ。ただし、70ドル割れから一気に値を崩すまでの勢いはみられず、最近の取引レンジが踏襲されている。

トランプ米次期大統領は、EUに対して、米国産の石油・天然ガスを大量に購入しなければ関税を課す方針を示した。米国のEUに対する貿易赤字を問題視している。トランプ氏が米国内の石油・天然ガスの増産を促す方針はネガティブだが、一方で欧州向けの輸出が拡大する可能性はポジティブになる。ただし、いずれにしてもエネルギーコスト軽減が基本戦略であり、原油価格を過度に刺激するような大規模輸出が行われる可能性は低い。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（12月13日時点）は、原油が前週比93万バレル減、ガソリン235万バレル増、石油精製品が318万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

## 60ドル台後半でクリスマス休暇へ向かう

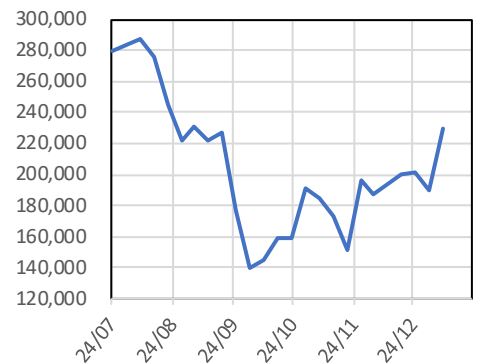
70ドルを挟んで売買が交錯しているが、60ドル台後半をコアにやや上値の重い展開が想定される。何か突発的に供給不安を高めるような動きが見られないのであれば、需給緩和見通しの上値圧迫が続こう。ただし、クリスマス休暇入りする市場参加者も多く、大きな値動きには発展しない見通し。最近の取引レンジ内で、上値の重さを再確認する展開に留まる可能性が高い。

根強い需要不安が上値を圧迫する。中国国有石油大手の中国石油化工集団（シノペック）は、2027年に中国国内の石油消費量がピークを迎えるとの見通しを示した。昨年は26～30年としていたが、需要鈍化が一段と鮮明になったと判断した模様だ。液化天然ガス（LNG）トラック、電気自動車（EV）など、石油を使用しない輸送機器の普及を受けて、ディーゼル油やガソリン需要が減退するとの見通しが示されている。

中国政府は、財政出動と金融緩和で2025年の景気を下支えする方針を示しているが、景気動向と関係なく石油需要がピークを迎える可能性が高まっている。足元では原油安が需要をある程度刺激している模様であり、石油化学産業向けの需要も堅調だが、根強い需要不安が上値を圧迫する展開が続く見通し。9月10日に付けた年初来安値65.57ドルを年末までに下抜く可能性は後退しているが、70ドル台前半では上値の重さを再確認しよう。

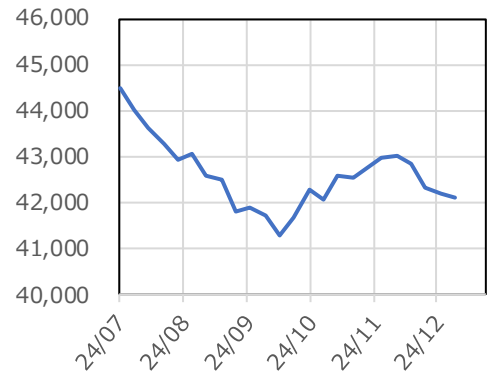
ただし、突発的な供給リスクが浮上する可能性は排除されていない。ウクライナや中東情勢に大きな動きがみられると、短期投機筋の買いが膨らむ可能性は、引き続き想定しておく必要がある。イラン核開発問題に対する米欧の動向にも注意が必要だ。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



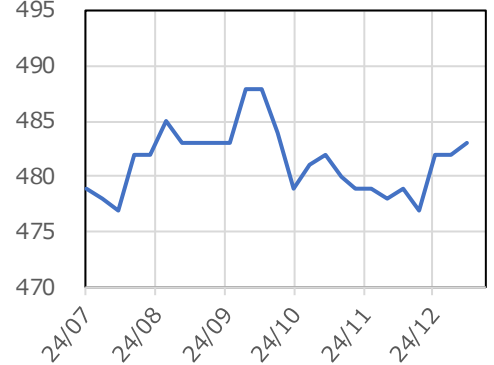
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

